

ワクチンの

「問」

検証第二弾



長引くコロナの影響で、多くの人はいまだ不安な日々を過ごしている。最強の対策、と思われたワクチンを巡っては、賛成派と反対派の溝は深まるばかり。そこで巷に広がるワクチンを巡るさまざまな言説を徹底検証した。

ワクチンの効果は？ 尾身会長

高齢者の死者多いのは ワクチン打ったから？

「謝罪しろ！ 謝罪しろ！」
一月二十八日夕刻――。
名古屋駅前が集まった一部
群衆は声を上げていた。矛
先が向かったのは、愛知県
知事選の応援演説に来た、
新型コロナウイルスワクチン接種の
調整を担っていた河野太郎
デジタル大臣。
ワクチン接種に反対する
怒声に、推進派の河野大臣
は、こう言い返す。
「デマを通じて接種を妨げ
るのは慎んでいただきたい」
日本全国で、ワクチン接
種を巡って世論に分断が広
がっている。先週号でも人
口に広まるワクチンの「闇」
について、様々な角度から
検証した。今号では新たな
ワクチンを巡る言説につい
て、専門家の意見を元にさ
らに検証を進めた。

一月二十八日、新型コロナ
ナの死者が一カ月間で一万
人を超えたと発表された。
「厚生労働省が公表した死
者の数は、昨年十月時点で

千八百六十四人。十二月に
七千六百二十二人。そして
一月に一人を突破した。
累計では六万七千人を超え
ています。第八波の死者の
九割以上が七十代以上の高
齢者です」（厚生省担当記者）
昨年から四回目、五回目
のワクチン接種が始まった
後、高齢者の死者が急増し
ているため、「高齢者の死
者が多いのは、ワクチンが
原因」とする説がある。
首相官邸によれば、オミ
クロン株対応ワクチンの接
種率は、全国民の四一％、う
ち高齢者は七〇％だ。高齢
者の接種率が九一％だった
三回目と比較すると減少傾
向とはいえ高い接種率だ。
「ワクチンの感染予防効果
は期待できなくなりました
が、重症化予防は期待でき
ます。特に高齢者などハイ
リスクの方々には接種を強
く推奨しています」
そう語るのは長崎大学の
森内浩幸教授だ。実際、昨

に関心をもっておられて、奥野君、是非とも調べてほしいとのことでありました。昨年辺りは（サミットに）是非来たいと調整して頂いたのですが、（一九九年五月に）皇嗣殿下になられて行事が忙しいものですから、皆様に宜しくお伝え下さいますようにということでした。かたや奥野氏の陳述書には、前述のように自らへの支出には反論していたが、秋篠宮への百万円に関する個別の言及は無かった。食い違う両者の主張。そもそも「帳簿」の記載は事実と言えるのか。支出先の店舗などに確認を求めた。「Xさん、バランストンプの上の部分に鵜にしたものを特注されていかはったねえ」（Dの店主）

「額がズレてることはありましたが。うちの記録より、ちょっと水増しして出してはったみたい」（Bの店長）
「新社長が帳簿を何枚か持ってきたけれど、金額とかは、別におかしいとは思わなかったですね」（帳簿に頻出する居酒屋の店長）
帳簿によれば、一七年十

月、一八年九月に会食を共にしたとされる元府警幹部のN氏。本人はこう語る。「（両日の会食は）事実です。でも、全部割り勘か、僕が出したかですから。便宜を図る立場にもない」
門川市長は「会食の事実はありません」、古川副知事は「飲食をしたことは覚えておりません。お支払いはできていないと思います」などと回答した。
すなわち、X氏が時に経理への請求額を水増しした可能性は否定できないが、該当の店舗に支出していることは間違いなさそうだ。

「本人はボランティアの気持ちでやっていましたので、騒動に巻き込まれたショックで体調を崩している。心境的にも回答が難しい」
一方、同じ一月二十九日、X氏にも経緯を尋ねた。「秋篠宮殿下に百万円を払った？」
「まだ裁判中なので」
「裁判では、奥野先生が百万円を預かったと」
「秋篠宮殿下に研究費として渡しても、（結局は）私（奥野氏）に来るので、私ももらいます。預かりますか、もらいますか、ニューアンスは分からないけど。殿下には行ったかどうかは、私はわからない」
殿下に名誉顧問を打診

「お金があるというか、お付き合いを。嵐山の付き合いは、独特なんよ。裁判官も分らんのちゃうか」
宮内庁は事実確認に対し、概ね次のように回答した。「（百万円を受け取った）事実はありません。（名誉顧問就任の打診や鵜飼サミット出席の打診、お土産などを受け取った事実は）承知していません」
二〇年八月の提訴から二年半近く。裁判の過程で鵜飼協会は二一年六月で解散した。協会が所有し、完成間近の新しい鵜小屋は、観光客が首を傾げる「謎の建物」として、渡月橋の傍に放置され続けたままだ。
最後に小島社長が言う。「鵜飼は歴史的に、皇室の方々とも縁の深い伝統文化です。多額の資金が何に使われたのか。裁判で解明して欲しいと思います」
注目の判決は、三月にも下されるという。

裁判資料にはX氏の宣誓が
せん 誓
良心に従ってほんとうのことを申し
上げます。知っていることをかくし
秋篠宮殿下に研究費としてお渡しする、名目はちょっとあ
り、したら、今後嵐山通船というのは、鵜飼事業では唯一民
主的に殿下のお名前が入ると、行政取りもろ
奥野先生に100万払ったの。
はい、奥野先生に100万渡しました。
じゃ、奥野先生には、秋篠宮さんへの100万のほかに、もう100万

「奥野先生に100万渡しました」と証言

子供向けのワクチン接種会場



大塚副病院長

(左から) 森内教授 伊藤院長

に感染しやすいので、ワクチン接種を受けていても細菌が二次的に合併して、肺炎になることがあります」厚生労働省のまとめでは、二〇二二年十二月に、一

打つとがんが悪化する？

新型コロナウイルスのワクチンを接種した後、がん細胞の進行が加速する「ターボがん」なる言葉が、ネットで拡散され物議を醸している。「昨年十二月、ワクチンの副作用で『娘がターボがんにかかった』と寄付を募る投稿がありました。信頼できる投稿ではなく、批判が

週間に九百五十四件の高齢者施設でのクラスターが発生し、過去最多を記録した。高齢者は感染後の合併症にこそ気を付ける必要があるのだ。

集まった結果、投稿は削除されましたが、信じる人もネット上にはいたのです」(厚労省担当記者)

この言説に科学的根拠はあるのか。前出の伊藤院長が解説する。「そもそもターボがんという医学用語は存在していません。ワクチン接種後にがんが進行しやすくなるという明らかな論文やデータは発表されておらず、全く根拠として乏しいレベルです」

逆にワクチン接種によってがんが小さくなる可能性が米国では指摘されている。「米国疾病予防管理センター(CDC)では『ワクチン接種によって新型コロナウイルス

以外の死亡率が一五〜二七%低下した」と発表されています。がん患者を含む基礎疾患をお持ちの方はワクチン接種をお勧めします」(同前)

伊藤院長によると、CDCでは多くの病名を挙げながら、特に基礎疾患のある人には、ワクチン接種が推奨されているという。「なかでも重要な項目とされているのが、免疫抑制状態の方、つまり抗がん剤やステロイドなどを使用されている方です。他にも、慢性肺疾患、慢性肝疾患、慢性腎臓病、認知症、糖尿病、心臓病や高血圧、うつ病をふくむ精神病、肥満や運動不足、妊娠中や妊娠終了後四十二日以内の方、喫

煙者や過去の喫煙者などです」日本癌学会によると、ワクチンを受けたがん患者約二・九万人を対象とした観察研究の報告が行われている。そこではがん患者でもワクチンを二回接種すると感染リスクが低下することがわかったという。ただし、ワクチンの感染リスク低下効果は五八%。非がん患者の感染リスク低下効果は九〇%以上なので、がん患者では「ワクチンの効果が減弱する可能性が示唆されます」と同学会は結論付けている。

がん患者は免疫低下が顕著だ。治療の妨げになるリスクは少しでも避けることを考えたい。

感染したら ワクチンは不要？

国内の新型コロナウイルス感染者数は、累計で約三千二百万人を突破した(一月三十日時点)。初回接種や三回目の追加接種の後に感染したケース

もあるだろう。重症化予防の効果も持続するため「一度感染すれば、免疫がつくので、もうワクチンは不要」と主張する人も多い。実際はどうか。鹿児島大

学の西順一郎教授が話す。「一回かかった方でも免疫が十分持続するとは限らずに、段々低下してくると言われています」再感染は、感染一回の患者と比べて死亡リスクは二倍以上と医学誌「ネイチャー・メディシン」で発表されている。オミクロン株対応の二価ワクチンでも、抗体の持続期間は約三カ月が目安と言われている。また、感染しても無症状や軽症だった人には大きなリスクがあると西教授が続ける。「陽性になっただけで、症状が出なかった人の場合は免疫がほとんど付いてない場合もある。これまでの報告で、症状が強ければ強いほど、できる免疫は強いとされています。症状があっても非常に軽かったという人は、新型コロナウイルスに対する免疫が十分でない場合もあると思う。そういう人は早めに接種して、再感染に備えるということが大事だと思います」現在、オミクロン株「B

Q「や「XBB」と呼ばれる亜系統は、ワクチンの免疫をすり抜けると言われている。特に注意したいのは、二回目接種までで、コロナに感染してしまった人だ。一度もオミクロン対応ワクチンを打っていないことになるからだ。「今の感染状況を見ると二価ワクチンを一回も受けていない人は、接種したほうがいいでしょう。春以降さらなる流行が起こる可能性があるからです」西教授は、特に三回目接

子どもはワクチンより 自然免疫でいい？

子どもや孫を持つ家族にとって、自分のワクチン接種以上に迷うのが、「子どものワクチン接種」だ。仮に感染しても、重症化することは大人に比べて少ないとき、子どもにコロナワクチンを打つと将来が不安だから、自然免疫でいいのではないか」との意見も根強い。国内の五歳から十一歳の接種状況は二回

目で一九・一%、三回目は七・九%。有効成分の量は十二歳以上の三分の一だ。現状で、子どもはワクチンを打つべきなのか。前出の森内教授は「子どものワクチン接種で悩まれているのは当然」と理解を示す。

「新型コロナウイルスはRSウイルスやインフルエンザほど子どもにとって恐い

病気ではありません。また小児は、はしかなど他の多くのワクチン接種も必要なので、定期接種のスケジュールを狂わせてまでコロナワクチン接種を優先する必要はないのです」ただし、オミクロン株の流行によって、二十歳未満のコロナ死が急速に増えていると、森内教授が続ける。「ワクチンは重症化を防ぎます。定期接種のスケジュールの中に上手に組み込んで接種を検討して下さい」国立感染症研究所の発表

したデータを見ると、二十歳未満の新型コロナウイルスによる死亡者数は二二年一月〜九月の間で六十二例。オミクロン株が流行する前の二一年末時点では、二十歳未満の死亡例は三例だった。オミクロン株の流行で、子どものリスクを改めて考え直す時期が来ている。

「米国の研究者が発表した論文では、五歳から十一歳の子どもがワクチンを打つと、オミクロン株でも重症化を防ぐ効果は六八%以上がることわかったとしている」(厚労省担当記者)子どもの接種についてはあせる必要はない。じっくり考えて欲しい。

打てば打つほど 免疫力が下がる？

「ワクチンを接種すると免疫機能が抑制される」このようなワクチンⅡ免疫減少論が、今年に入って多くの雑誌を賑わせている。それによると英オックスフォード大のデータで、日本は人口百人あたりのワクチン接種回数が三百五回と世界最多。それにもかかわらず感染が止まらないのは、ワクチンが免疫力を下

「ワクチン接種後に免疫が下がることについては、抗

「日本小児科学会は、重症化しやすい基礎疾患を紹介

「接種で免疫システムが破壊され、帯状疱疹などに感

ビジネスパーソン必読 三木浩史 未来力10年後の世界」を読み解く5つの思考法」発売中

「染しやすくなる」などという話も広がっていると警鐘を鳴らすのは、ひまわり医院の伊藤大介院長だ。
「コロナワクチンと帯状疱疹のリスク増加については、昨年十一月に二百四万人を対象とした調査結果が米論文にまとめられています。両者に関連性はみられないと結論づけられています」

「この根拠として複数のメディアで取り上げられているのが、イギリスの科学誌『ネイチャー』に掲載された論文だ。そこには『ワクチンを接種してから一週間はリンパ球が減る』と書かれているという。つまり追加接種をすればするほど免疫力が下がる期間が増え、感染や重症化リスクも上がる——という主張だが、伊藤院長は、論文の誤読だけでなく発表時期にも問題があると指摘する。

「該当のものと思われる論文には『リンパ球が一時的に減少する可能性はあるが、ワクチン接種後六〜八日でもとに戻る』と記載されています。この論文はコロナ禍がはじまってすぐの二〇年夏に公表されたものの。その後、世界中で、重症化予防の効果があるという結論が出ている。得た情報が最新のものであるかどうか、見極めて判断することが大事なのです」

打って「コロナ感染すると後遺症がひどくなる？」

感染者数とともに増えるのが後遺症に悩む患者だ。コロナ・アフターケア外来を設置する岡山大学病院の大塚文男副院長によると、

「デルタ株の時は約一〇％の方にみられた後遺症状が、オミクロン株では四・五％程に下がったという海外の報告があります。発症確率としては下がっているのですが、感染者数が増えているため、後遺症患者も増えてしまう。患者さんはコロナの感染者数の増加か

ら少し遅れて増えますので、春から夏ごろにかけて『コロナ後遺症の第八波』が来るかと見えています」
そのような状況下で上がるのが「ワクチンを打ったからひどい後遺症になった」という不安の声だ。鹿児島大学の西順一郎教授は、これを明確に否定する。

「ワクチンを打つと感染時に後遺症が悪化する、ということはありません。むしろ逆で、後遺症を抑える効果があるという報告があります。従来株の感染者を対象にしたイギリスの論文では、ワクチン接種を二回済ませた人は未接種者と比べて、後遺症になる割合が約半分だったことが明らかになっています」

大塚副院長もこう分析する。
「オミクロン株になってから、若年層など、感染時は軽症だったけれど後遺症が治らない人が増えた。また、重症化した人の方が、後遺症も長引く傾向がある。その意味でもワクチン接種を含め感染対策を意識し、継続することが重要です」

従来株とオミクロン株、後遺症に違いはあるのか。「デルタ株で約四割の方にみられた嗅覚・味覚障害は減り、約六割の方に倦怠感が現れるようになりました。そこに『眠れない』といった睡眠障害や頭痛、咳などが重なってくるケースが多い(同前)」

後遺症の患者にはどのような治療を行っているのか、大塚副院長が続ける。「後遺症には特効薬がありません。倦怠感には漢方を用いるなど、症状に合わせて治療する『対症療法』を行っています。専門外来が近くに無い場合には、内科や総合診療科、子供の場合は小児科に。悩まれたら自

治体の後遺症相談窓口に聞いてみるのがいいでしょう」
後遺症治療は現在も保険診療のため、5類移行後も費用面での変更はないとみられる。ただ、後遺症の完治には長い時間がかかるのも事実。大抵の人は月一〜二回の通院になるというが、「陽性になってから完治まで、平均するとおよそ半年ほど。当院では二年前に外来を始めてから、昨年末まで五百二十六名の方を診察しましたが、約半数の方が、薬が要らなくなるまでに完治されています(同前)」
ウィズコロナの生活では、正しい情報を見極めながら、コロナと根気よく付き合っていく必要がある。

年金官僚「天下り」にも続けられていた

東京にある年金機構本部

日本年金機構本部

小誌は先週号で、厚生労働省所管の公益法人「全国国民年金基金(以下、年金基金)」に、厚生省や社会保険庁の後継組織・日本年金機構からの「天下り」が続いていたことを報じた。取材をすすめること、さらなる天下り先があることが分かった。

「長妻議員からの指摘を受けて検討を行い、勤務経験年数を表記せず、『年金業務の』習得に意欲的な方」と変更する事に決めました。採用方法に問題があったとは思いません。応募者を増やすため、条件を見直す判断をしたということです」

「〇四年、年金保険料、政府管掌健康保険料が投じられて問題視されたのが、社保協が運営を担った福祉施設『社会保険センター』『ペアーレ』(共にプールやジムなどを運営)でした。結果、〇五年にほとんどの施設が廃止か民間に移されました。また、全社連や社保協が出版する『社会保険

基金にとどまらない。今回の舞台は、四十七都道府県にある『社会保険協会(以下、社保協)』である。社保協は戦後、厚生年金や健康保険の普及を目的とし、厚生省(現厚生省)認可の公益法人として、各都

さらに一〇年の厚生省調査で、全社連に七十五人の国家公務員OBがおり、最高年収は千四百四十六万円に上ることが明らかになった。当時の長妻大臣は、国家公務員の再就職を見直す方針を打ち出した。同年の民主党政権による『事業仕分け』では、天下りや無駄遣いがその対象となった。すでに運営する施設は、一カ所になっているのに、現在は何をしているのか。

厚生省が所管の公益法人に対し、役員だけでなく一般職員の公募の徹底を求めたのは二〇一〇年、民主党政権の長妻昭厚労相の時だ。小誌の取材後、長妻氏は一月二十三日、年金基金で公募が徹底されているか厚生省に問い合わせたという。「応募資格には『30年以上の勤務経験』『年金に関わ

る業務の知見や経験を有する方』とあり、年金官僚OBを前提にしているように見えた。それを指摘すると翌二十四日には改善策を伝えてきた。早く対応したのは、問題があると感じていたからでしょう(長妻氏)年金基金はこう説明する。

「〇四年、年金保険料、政府管掌健康保険料が投じられて問題視されたのが、社保協が運営を担った福祉施設『社会保険センター』『ペアーレ』(共にプールやジムなどを運営)でした。結果、〇五年にほとんどの施設が廃止か民間に移されました。また、全社連や社保協が出版する『社会保険

六法』など七冊の監修料三千万円を厚生省外局の社会保険庁職員たちが受け取ったことも国会で追及されている(厚生省担当記者)その社保協は天下りも多く受け入れていた。〇四年の調査で、厚生省や社保庁OBが二百二十一人在籍。福祉施設を運営する公益法人の中では最多だった。

「社保協は企業から従業員数に応じ、三千円〜五万円程の年会費をとり、年金相談や人間ドック、レジャー施設の割引などの福利厚生を提供している。かつては、企業は加入をお願いされる

東京社会保険協会の山根隆会長

加藤勝信厚労大臣

日本年金機構の水島藤一郎理事長

創業天明年元(1781年)

京都 石野の白味噌

株式会社 石野味噌

京都市下京区油小路通四條下丸石井町 ☎(075) 361-2336
http://www.ishinomiso.co.jp
お問い合わせは百貨店、食料品店にて

週刊文春

2月9日号 定価 460円

